

神海丸通信

No.5

1月31日より始まった操業もすでに7回目が終わりました。各作業も一通り体験し、「〇〇作業の方が好き」「やるべきことがわかってきて、面白い！」など話題は操業に関わることが多くなっています。話題と言えば、1日当たりの漁獲量が例年よりも遙かに多いことです。普段の行いが良いのかは定かではありませんが、「大漁！大漁！」「忙しくて早く時間が過ぎる」などの声が聞かれています。その一方で、「沢山捕れたから早めにハワイに行けるんですよ？」と真剣に質問に来る生徒…。予定通り順調に航海は進んでいます！



操業5回目を迎えた、船内時間2月2日（日本時間2月3日）。この日は恒例の行事「節分」です。写真を見てもらえればわかりますが、皆を楽しませるため、多くの時間を割いて準備くださった方もいらっしゃいます（お面、大漁旗など全て手作りなので相当な日数が掛かっています）。実習生が活躍できる場面を作るために、行事内容の説明や豆まきの発声を実習生が行いました！掛け声は神海丸ではお馴染みの「シャチは外！！福は内！！」。まかれた豆やチョコレートなどを手に持ちきれないほど抱え、一生に一度しかないであろう洋上での節分を楽しんでいました。ちなみに行事説明を行った実習生は、特別な役割を託され乗船しています。それは、水高記者（学生新聞記者）として定期的に中国新聞へ記事を提供しています。「水高記者 DIARY」として連載されています。また、県のHPに神海丸の現在位置や生徒コメントがアップされていますので合わせてご覧ください。引き続き、実習生達の応援をよろしくお願いいたします！！。

